

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1328
施設名	篠崎ちとせ保育園
施設所在地	江戸川区篠崎町6-4-20
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

11月

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・ どうやったらロケットを作れるかな？
- ・ ロケットを作ってみよう
- ・ どうしたら真っすぐロケットは飛ぶかな？

<テーマの設定理由>

## 2. 活動スケジュール

- ① 空をとぶものってなんだろう？（みんなで意見を出す）
- ② 身近にある物で、ロケットってどうやって作れるのかな？（みんなで意見を出す）
- ③ ビニール袋を使って作ってみよう。どうやって空気を入れる？
- ④ 作ったロケットをみんなで飛ばしてみよう（縦・横で飛ばしてどっちが遠くに飛ぶか）
- ⑤ 空気の抵抗が小さいほうが遠くに飛ぶことを知る
- ⑥ 自分のロケットを作ってみよう（ロケット風船にストローで空気を入れて膨らませる）
- ⑦ ただ膨らませただけでは、真っすぐ飛ばない。どうしたら真っすぐ飛ぶのかな？
- ⑧ ロケットの下側に羽、上側に紙を巻き重さを付ける
- ⑨ 園庭に行き自分の作ったロケットを飛ばす
- ⑩ 誰が遠くまで飛ばせるか競争をする

### 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ロケット 羽 テープ 完成後にのびのびと飛ばして遊べる環境作り（園庭）

- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等）

- ・講師の質問に真剣に考えて答える姿が見られた。実際に意見を出したことを試してみたりできることで子どもたちはより、興味を持ち参加することができていた。
- ・講師の質問に当ててもらいたく大声でアピールしたり、立ち上がった姿があった。気持ちを止めずメリハリを持って参加できるように言葉かけをした。
- ・自分の作ったロケットを飛ばす時には、飛ばし方に苦戦する姿も多かった。友だちや保育者に教えてもらいながらコツをつかんで飛ばしていた。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。



HP



などで



#### 4. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

久しぶりのすくわく科学だったので、前日から子どもたちは楽しみにしていた。講師の質問の仕方や例え方がわかりやすく子どもたちから色々な意見が出てきていた。意見を聞き試せるものは試したりすることで、より興味を持ったり、再度考え直したりする姿が見られた。日々の保育の中でも取り入れていきたいと思った。